DA-c-6

QuickGene DNA tissue kit S (DT-S)

硬組織（歯および骨）からのゲノムDNA分離

プロトコル

硬組織（歯および骨）を洗浄後、破砕機を使用して粉砕する

1.5 ml マイクロチューブ

← 粉砕した硬組織：10 mg
← 0.5 M エチレンジアミン四酢酸（EDTA）：500 µl

56°C で 3 日間、ロータリーミキサーを使用しながら脱灰処理を行う

5,000 rpm、3-5 秒、室温

上清（EDTA）を除く

← MDT：180 µl
← EDT：20 µl

数時間から一晩、ロータリーミキサーで 55°C インキュベーションし、
組織を完全に溶解する

10,000 rpm、3 分、室温

溶解残渣分を残し、上清を新しい 1.5 ml マイクロチューブに移す

← LDT：180 µl

ボルテックスで混合：15 秒（最大回転数）
軽くスピンダウン（数秒）

70°C インキュベーション：10 分
軽くスピンダウン（数秒）

← >99% エタノール：240 µl

ボルテックスで混合：15 秒（最大回転数）
軽くスピンダウン（数秒）

ライセート完成

QuickGene のカートリッジへ全量添加

使用装置の分離プロトコル参照
QuickGene-Mini480[*1]

ゲノム DNA 回収（回収液量：50 µl）

*1 本事例は旧機種で取得したデータも含まれます。
その他QuickGeneシリーズでもこのプロトコルをご参考頂けます。

結果

電気泳動図

データなし

ゲノム DNA の収量

データなし

タンパク質の混入：A260/280

データなし

カオトロピック塩の混入：A260/230

データなし

その他

データなし

共通プロトコルサンプル

データなし

①この本に含まれるプロトコルには実績はありますが確立されていないプロトコルも含まれています。サンプルの種類・保存条件などによっては分離できない場合もあります。データに関しては保障しておりません。
②分離した核酸には目的以外の核酸（例：DNA 分離にはRNA）が含まれています。

KURABO